



平成27年 7月16日 NO・52

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
 【ホームページで、カラー版が見られます】



「来たときよりも美しく」
 「始まったときよりも、美しくして終わる」
 日本人には、このような思いが、心のどこかに隠れている。おそらく、長い長い年月をかけて先祖代々受け継がれてきたDNAのようなものが、このような気持ちと呼び起こすのだろう。

先日、いつものように各クラスを回っていたとき二年生のあるクラスで机を移動している女子と出会った。「どうしたの」と尋ねると、「自分の班員の机を、すぐに給食が食べられるように並べ替えたのですが、他の班も並んでないようなので、ついでに並べ替えていました。」と答えてくれた。

おそらく、彼女の行動はだれにも気付かれず、だれにも感謝されないだろう。しかし、この女子生徒

自らの輝きで周りを照らす常中魂



は、そんなことにはお構いなく、黙々と机を移動していた。

またある日、一年生の教室を訪れたときのことだ。残念ながら、教室の後ろの方にゴミが目立っていた。長年の経験で、「教室の汚れは、教室の和の乱れに直結する」ことを知っている。そこで、授業が終わったところを見計らって、掃除をしようとした。まさにそのとき、ある女子と、男子が、さっと寄ってきて、「自分たちがやります」と言ったのだ。

この行動も、おそらくクラスの多くの人たちは気付いていない。だから、おそらくだれにも褒められない。それでも、二人は、自分たちの教室の掃除を丁寧にしていた。そして終了後は、何事も無かったかのように、次の時間の準備をしていた。

後ろ姿の「美しさ」

サッカー部の後ろ姿に、「美しさ」を感じる。
 この写真は、全力走を終えた直後に、呼吸を整えながら歩くサッカー部員たちの後ろ姿だ。
 お気づきだろうか？
 激しく動いた後にもかかわらず、『シャツがズボンからはみ出している生徒が一人もない。』
 本校には、剣道部は無いが、剣道でよく使われる言葉に、「守・破・離」という言葉がある。
 まずはじめは、「守る」こと、この段階が無いと上達は望めない。先輩の教え、指導者の教えなどを素直に聴く「心構え」が無いと、伸びない。「守」とは、そういう教えを指す。
 サッカー部員たちの清潔感漂う後ろ姿からは「守」の心が感じられる。
 何でも吸収できる可能性をもつ「素直さ」、伸びようという「意欲」そして、力強い「団結力」常中魂に満ちた「守」の心だ。

